

2024年度 SNS・ソーシャルメディアを利用した広報力向上講習会 開催要綱

1. 主旨

SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）というツールが一般化し、ソーシャルメディアを通じた情報発信が簡単にできる時代になった今、広報部門にとってSNS・ソーシャルメディアの活用は重要なテーマになっています。

本講習では、Facebook®、X（旧 Twitter®）、Instagram®、YouTube®の4つの代表的なツールの特徴を紹介し、活用事例を通じて、SNS・ソーシャルメディアを利用した広報の取り組みについて学ぶ。

2. 主催 社会福祉法人 福利厚生センター

3. 受講対象者

法人代表者が推薦するソウェルクラブ会員、1事業所1名。

4. 開催日程等

	第1回	第2回
対 象	広報担当者向け	広報担当者向け
開催日	8月19日（月）	8月26日（月）
時 間	13:00～16:30	
場 所	オンライン（Zoom 使用）	
定 員	各回30人	

5. 講習内容 プログラムをご参照ください。

6. 受講申込方法

- ・ソウェルクラブホームページの法人ログインまたは事業所ログインからWEB申込
- ・別紙様式の「受講申込書」で福利厚生センター（ソウェルクラブ）宛てに郵送申込

7. 申込受付期間 2024年6月7日（金）必着

8. 受講者の決定

申込が定員を超えた場合は福利厚生センターで受講者の選定をします。
（先着順ではありません）

9. 必要事項（動作環境）

受講に必要な環境は以下の通りとなります。

- 〈1〉パソコン：事前にZoomアプリのインストールを行ってください。
- 〈2〉通信環境：光ファイバー、ケーブルテレビ等のブロードバンド環境を推奨。
- 〈3〉ヘッドホンセット：マイク付きイヤホン（PC備え付けのマイク等でも可）
- 〈4〉カメラ：Webカメラ（PC備え付けのカメラ等でも可）
- 〈5〉受講環境：講師の声が聞き取りやすい静かな環境、なおかつ、グループディスカッションがありますので声を出せる環境で受講ください。

10. その他 受講者1名につき複数名での受講をご遠慮ください。

2024年度 SNS・ソーシャルメディアを利用した広報力向上講習会 プログラム（予定）

対 象：(SNS)広報担当者

ねらい： SNSが一般化し、ソーシャルメディアを通じた情報発信が簡単にできる時代を迎えこれらを利用した広報活動及び活用は重要なテーマになっています。 研修においては、Facebook®、X®（旧Twitter）、Instagram®、YouTube® の4つの代表的なツールの特徴を紹介し、活用事例を通じて、SNS・ソーシャルメディアを利用した広報の取り組みについて学ぶこととされています。

時 間	講 習 内 容 ※講義・個人ワーク・グループワークを適宜実施します
12:40	接続開始（音声チェック）
12:55	ガイダンス
13:00	<p>1. SNSを利用した広報活動とは</p> <p>(1) 広報活動とは</p> <p>(2) 広報活動のポイント</p> <p>(3) SNS活用、配信の目的</p> <p>(4) SNS運用の位置づけ</p> <p>【ワーク】 自社の広報、およびSNS活用の目的、目標と現状を確認する</p> <p>(5) バズマーケティングとは</p> <p>2. Facebook®～広報の基盤としてオフィシャル感を活かす</p> <p>(1) Facebook®とは</p> <p>(2) 公式サイトとして開設するFacebook®ページ</p> <p>(3) インサイトでユーザー動向を分析</p> <p>(4) 企業におけるFacebook®活用事例</p> <p>3. X®（旧Twitter）～速報性と拡散力を活かしたアクティブな情報開示</p> <p>(1) X®（旧Twitter）とは</p> <p>(2) 注目されるツイートの条件</p> <p>(3) ハッシュタグの活用</p> <p>(4) 効果測定の仕方と分析ツール</p> <p>(5) 企業におけるTwitter®活用事例</p> <p>4. Instagram®～若年層を中心に高い購買影響力を持つ</p> <p>(1) Instagram®とは</p> <p>(2) UGC（User Generated Contents）の活用</p> <p>(3) ストーリーズ機能の活用</p> <p>(4) 企業におけるInstagram®活用事例</p> <p>5. YouTube®～動画ならではの情報伝達力の活用</p> <p>(1) YouTube®とは</p> <p>(2) 企業におけるYouTube®の利用</p> <p>(3) ストーリーズ機能の活用</p> <p>(4) 企業におけるYouTube®活用事例</p> <p>6. 【ワーク】各組織で使用（使用予定）のツールについて情報交換をする</p> <p>7. SNSのリスクを考える</p> <p>(1) SNSにおける炎上とは</p> <p>(2) ソーシャルメディアのリスクを理解する</p> <p>(3) SNSの炎上事例</p> <p>8. まとめ</p> <p>【ワーク】 自社でのFacebook®、X®（旧Twitter）、YouTube®、Instagram®の活用を考える</p>
16:30	閉 講（終了）

※休憩は進行に応じて（30分から40分ごとに）10分程度の休憩を行います